



バレーボール競技 戦評用紙

種別	聴覚障害者の部(男子)	会場	岩出市立市民総合体育館
----	-------------	----	-------------

平成 27 年 10 月 25 日 日曜日 第 2 日目

A コート 第 6 試合

☐ 1 回戦 ☒ 交流試合 ☐ 準決勝 ☐ 3 位決定戦 ☐ 決勝

◎試合結果

勝利チーム		25	—	17	{	0	青森県
長崎県	2	25	—	15			
都道府県 指定都市名			—				都道府県 指定都市名

【審判員】

主 審： 渡辺 徳昭（和歌山県） 副 審： 藤木 博文（和歌山県）

記録員： 村中 里菜（和歌山県） A・S： 小垣 田林（和歌山県）

【戦 評】

記載者： 山本 和良（戦評委員）

今大会、第6試合の交流試合、昨年度開催県の長崎県対青森県の対戦となった。試合開始から、長崎県8番セッター植松選手を中心としたコンビバレーで得点を重ねていった。それに対して、青森県は堅実なレシーブで粘り、全員バレーで相手のミスを誘っていた。第1セットは長崎県の攻撃で青森県を押し切った。

第2セットは、長崎県の攻撃に対して、青森県キャプテンの1番千葉選手と攻撃の中心9番田中選手にトスを集める。センターからの攻撃で青森県も反撃を行う。しかし中盤に2点差まで追い詰めるが、強打のみではなく、軟打も織り交ぜた長崎県の攻撃にボールをつなぎ切れず、第2セットもリードを許してしまった。第2セット後半も、攻撃の手を緩めなかった長崎県が青森県を押し切ったゲーム展開となった。

長崎県は和歌山県との交流戦に駒を進めた。

150

300

450